

取扱説明書

改訂版①

エンジン自走式除雪機

HG-K7060

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、内容を理解してからお使いください。

燃料 無鉛レギュラーガソリン

 エンジンオイルは入っていません。



このQRコードを読み取ることで、本製品の「組立て」「運転操作の仕方」などを動画でご覧いただけます。



目次

はじめに	3
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために	
安全にお使いいただくために	4
除雪機の安全に係る事項 除雪機の操作をしている時の安全に係る事項	
安全ラベル	5
各部の名称	6
主要諸元	7
梱包部品一覧表	8
組立て	9
ハンドルの組立て	9
シュータの取付け	10
ヘッドライトの取付け	11
コードホルダーの取付け	12
タイヤ固定ピンの固定方法	12
各部の取扱い	13
シュータデフレクタ角度調整	13
シュータの向き調整	13
リコイルスターター	13
スイッチ類	13
走行ハンドル	14
オーガ（除雪）クラッチレバー	14
ソリ	15
運転前の点検	16
エンジンオイルの点検・補充	16
燃料の点検・補充	16
オーガ（除雪）クラッチレバーの点検	17
ラバーオーガの点検	17
走行ハンドルの点検	17
シュータの点検	18
各部の緩みやガタツキの点検	18
各部の異音の点検	18
排気状態の点検	18
グリス・潤滑油の塗布	18
運転操作の仕方	19
エンジンのかけ方	19
エンジンの止め方	20
除雪作業の仕方	21
除雪作業の停止	22
シュータに雪が詰まった場合	22
移動の仕方	22

点検・整備の仕方	23
エンジンオイルの点検・交換	23
燃料の抜取り	24
点火プラグの点検・整備	25
オーガ（除雪）クラッチワイヤの調整	26
ラバーオーガの点検・交換	27
バッフルの点検・交換	27
グリス・潤滑油の塗布	28
各部の緩みやガタツキの点検	28
各部の異音の点検	28
排気状態の点検	28
オーガベルトの交換	29
オーガワイヤの交換	30
タイヤの点検・交換	32
走行ワイヤの調整・交換方法	33
走行ベルト・駆動ベルトの交換	34
長期間使用しない時	35
故障と思ったら	36
消耗品一覧	37
FAX 見積り・注文用紙	38
保証内容について	39
お客様ご相談窓口	40

はじめに

このたびはエンジン除雪機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

除雪機の安全に係る事項



警告



指示

- ・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・回転しているオーガに接触すると負傷または死亡する恐れがあります。
- ・可動部分の位置及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故・怪我の原因になることがあります。
- ・クラッチレバーを握っていない時は、ラバーオーガが回転していないことを確認してください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。
- ・機械カバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。
- ・部品交換は、純正部品を使用してください。
- ・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

除雪機の操作をしている時の安全に係る事項



警告



禁止

- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・排気ガスは有害であるため屋内でエンジンを始動しないでください。
- ・身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
- ・運転区域には、全ての人、幼児、子供、ペット等を入れしないでください。操作者以外、本機へ近づけないでください。怪我の恐れがあります。
- ・砂利道は石が飛び出すなど危険です。除雪しないでください。
- ・雪の中に石が混入していると遠くまで飛ぶ事があるので十分注意してください。
- ・除雪部分、投雪口や回転部分に顔や手足、衣服などを近づけないでください。
- ・傾斜面を横切って除雪しないでください。
- ・坂道での除雪や停車はしないでください。



指示

- ・除雪する場所の異物はあらかじめ取除いておいてください。
- ・除雪部が異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、除雪機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ除雪機を再始動しないでください。
- ・除雪部分、投雪口などに詰まった雪を取除く時は、エンジンを停止し、誤ってエンジンがかからないようにしたうえで、回転が完全に止まった後に、棒などを使って取除いてください。
- ・本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンを停止してください。
- ・燃料は無鉛レギュラーガソリンを使ってください。
- ・滑りにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。
- ・坂道の走行には注意してください。
- ・後方へ走行する時は、足元及び背後の障害物に十分注意し、転倒したり障害物に挟まれないように運転してください。
- ・除雪時は操作に集中し、特にバック時は、滑らないよう足元にご注意ください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・停止する時は、オーガハウジングを接地させてください。

安全ラベル

使用前の注意事項

- 雪が降る前に除雪場所の石や異物を取除いておいてください。
- 4ストロークエンジンオイル（5W-30）量を確認し指定量入れてください。
- 各ネジ等の緩みがないか確認してください。
- 作業前は、必ず前後左右・投雪口方向の安全確認をしてください。

使用前の注意事項

- 凍っている雪の上に積もった雪を除雪する場合、ソリを上げてください。
- 投雪口に雪が詰まったら、必ずエンジンを停止し取除いてください。怪我の恐れがあります。
- 緊急時は、両手を操作レバーから放してください。安全キーがある場合は抜いてください。

使用後の注意事項

- シーズン後は、本機に付着した汚れ・水分を取除き各部に防錆・グリスを塗布してください。
- 本機を1ヶ月以上使用しない場合は、燃料タンク・キャブレターの燃料を抜いてください。
- 保管する場合、エンジンが冷めた状態でシートなどを掛けてください。

故障?と思ったら

- 作業途中でエンジンが止まった → ガス欠の確認
- 走行しない → 走行ワイヤの緩み、走行ベルトの緩み・切れ
- オーガが回転しない → ベルトの切れ・外れ、ワイヤの張りが緩い
- 車輪が片側しか回転しない → 車軸固定ピンの外れ
- 両車輪が回転しない → 走行ベルトの切れ・外れ、ワイヤの張りが緩い
- 雪の飛びが悪い → 重たい雪質、雪の詰まり、ワイヤ・ベルトの張りが緩い



除雪クラッチ

握る 入る 放す 切る

取扱説明書をお読みください。

傍観者を遠ざけてください。

操作中は回転部分に触れないでください。

点検修理の際は、点火プラグを外し取扱説明書に従ってください。

エンジンは高温です。

作業を保護するために、保護眼鏡や耳栓を着用してください。

ハンドルを押すと

タイヤが回転



警告

除雪クラッチ固定厳禁



警告

- ガソリンは引火性と爆発性が高い危険物です。
- 給油の前には、エンジンを切って冷やしてください。
- エンジンは有毒な一酸化炭素を排出します。
- 密閉された場所では使用しないでください。
- 取扱説明書は必ずお読みください。



警告

- 燃料の臭いがある場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- 燃料の漏れが見受けられたら、使用しないでください。
- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- 給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。

注意

- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。
- 燃料タンク内に雪や水が入らないようにご注意ください。
- 30日以上長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。

このQRコードを読み取ることで、「組立て」「運転操作の仕方」「点検・整備の仕方」等を動画でご覧いただくことができます。また、「整備手順」や「取扱いの注意」等最新情報を随時追加・更新していきます。ご利用ください。

※本取扱説明書と動画では、手順が異なる場合があります。ご了承ください。

各部の名称

※写真はプロトタイプのため、本製品とは若干形状が異なります。



主要諸元

型番	HG-K7060
除雪幅	600mm
除雪高	460mm
投雪方向	180°
走行	自走式
エンジン型式	Loncin G210FS 寒冷地仕様
総排気量	212 cm ³ (cc)
始動方法	リコイルスターター
投雪口操作	手動ハンドル (シュータ)
操作ハンドル	両手除雪
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃費 (1L 当たり)	約 60 分 ※エンジン単体無負荷状態
燃料タンク容量	2.5L
エンジンオイル	5W-30
エンジンオイル容量	0.6L
駆動タイヤ	チューブレスタイヤ 11×3.50-6
重量	55.5kg
サイズ	L14430×W645×H1000mm

※ハイガー産業は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

梱包部品一覧表 ※写真はプロトタイプのため、本製品とは若干形状が異なります。

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、試用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。



※製造時期により仕様変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

組立て

警告

- 緊急停止キーを抜いてから、作業を行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

注意

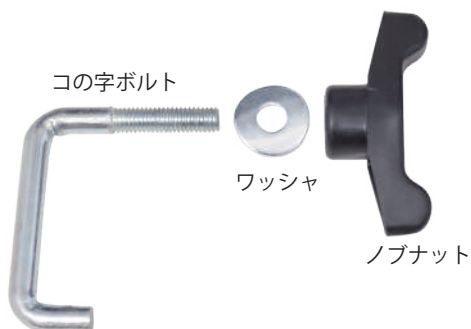
- 作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。



このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。

ハンドルの組立て

- 1 下ハンドルの左右に仮留めしているノブナット、ワッシャ、コの字ボルトを一旦外します。



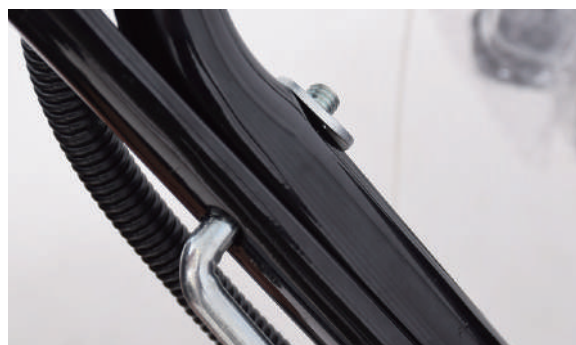
- 2 下ハンドルに上ハンドルを外側からかぶせ、取付穴を合わせ内側からボルトを挿入します。



- 3 取付穴を合わせ外側からコの字ボルトを挿入します。



- 4 ワッシャ、ノブナットを取付け仮留めし、反対側も同様に行います。



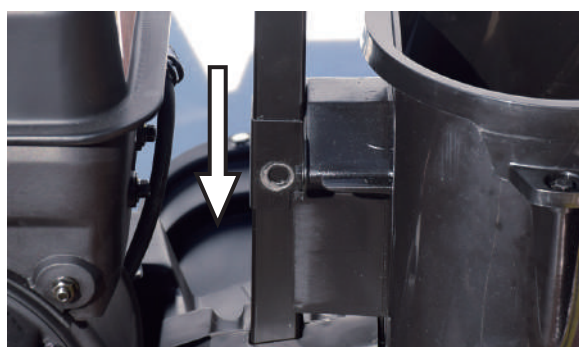
組立て



- 5** 左右のノブナットを均等に締付けます。その際、ワッシャをハンドルパイプのカーブに合わせて締付けます。

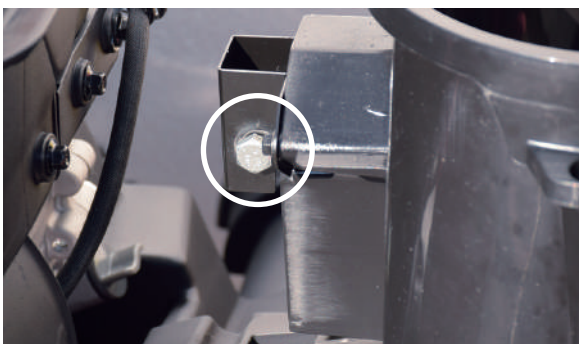


- 2** シュータ補助ステーを本体の取付け部に挿込み、取付穴を合わせます。



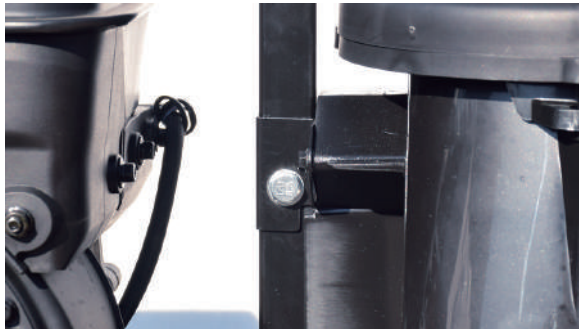
シュータの取付け

- 1** 本体のシュータ補助ステー取付部に仮留めしているボルト、ワッシャ、ナットを一旦外します。（13mm、のスパナを使用）



組立て

- 3** ボルト (13mm) にワッシャを通し、穴に挿込み、ナット (13mm) を取付け、締付けます。



- 4** シュータがスムーズに動くか確認します。



ヘッドライトの取付け

- 1** ヘッドライトのステーに仮留めしているナット、ワッシャを13mmのスパナ又はメガネレンチで一旦外します。



- 2** 下ハンドル上部の取付穴にヘッドライトのボルトを通します。

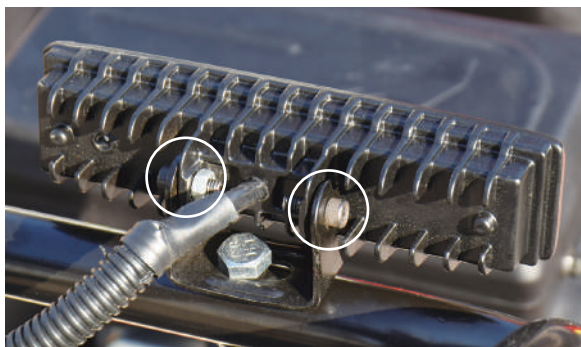


- 3** 下からワッシャ、ナットを取付け、13mmのスパナ又はメガネレンチで締付けます。



組立て

- 4** 角度調整は、ヘッドライト背面の六角ボルトを付属の六角レンチで緩めて行います。調整が終わったらボルトを締付けます。



コードホルダーの取付け

- 1** 走行・オーガクラッチワイヤコードをコードホルダーに挟み込みます。



- 2** 完成です。



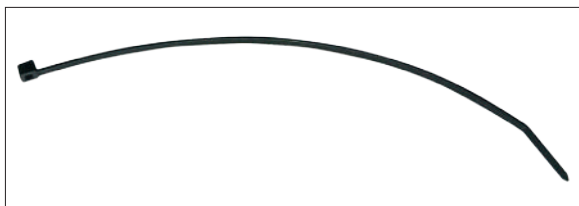
タイヤ固定ピンの固定方法

振動等により固定ピンの外れ、紛失を防止するため、下記の作業を行ってください。

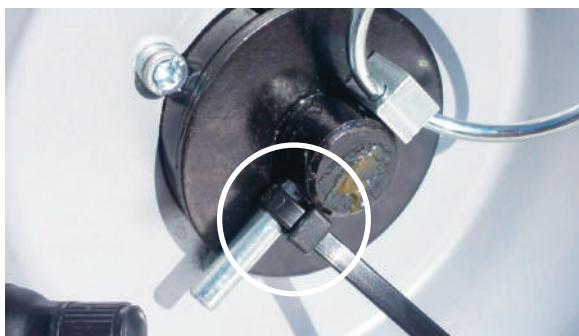
- 1** 固定ピンのリングを起こします。



- 2** 付属の結束バンドを固定ピンに取付けます。



- 3** 結束バンドをしっかりと締付けます。



- 4** 余分な結束バンドを切ります。

- 5** 固定ピンのリングを戻します。

各部の取扱い

シュータデフレクタ角度調整

投雪角度を調整します。

- 1 シュータデフレクタ角度調整レバーを押しながらロックを解除し、角度を調整します。



⚠ 注意

- ・シュータデフレクタ角度調整レバーを押さずに、無理やり角度を調整しないでください。ツメが折れて角度が調整できなくなります。

シュータの向き調整

投雪方向を調整します。

- 1 シュータ回転バーのノブを回すことで、投雪方向を180°の範囲で調整することができます。



リコイルスターター

リコイルスターターでエンジンを始動します。



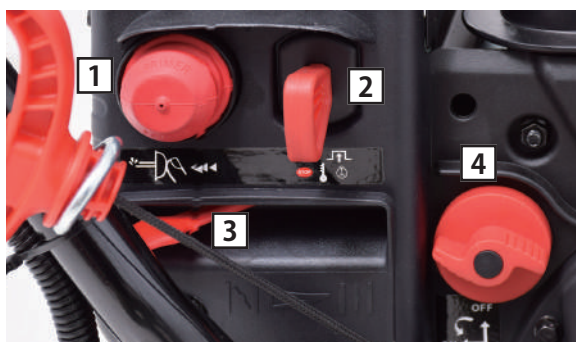
- 1 リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っすぐ引張ります。エンジンがかかるまで、数回繰り返します。

⚠ 注意

- ・リコイルスターターロープを最後まで引出さないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。
- ・運転中はリコイルスターターハンドルに手を触れないでください。

スイッチ類

スイッチ類は、本体右側にまとめられています。



1 燃料ポンプ

燃料ポンプを3~4回軽く抵抗を感じる程度まで押すことで、燃料をキャブレターに行きわたらせます。(初回のみ)

注) 押しすぎるとエンジンが始動しません。

各部の取扱い


2 緊急停止キー（セーフティーキー）挿入口

緊急時には「緊急停止キー（セーフティーキー）」を抜くことでエンジンを停止させることができます。

「緊急停止キー（セーフティーキー）」を運転者のベルトなどに紐で繋いでおくと、万が一の転倒など際にキーが抜け、エンジンを停止させます。（P.20 参照）



3 チョークつまみ

エンジン始動時は、チョークマークに合わせます。

4 燃料コック

コックを横にするとエンジンに燃料が供給されます。

走行ハンドル

前進走行させます。

- 1 走行ハンドルを前に押すことで前進走行ができ、放すと停止します。



オーガ（除雪）クラッチレバー

オーガを回転させる時に握ります。



- レバーを握る** オーガが回転します。

- レバーを放す** オーガが停止します。

警告

- オーガ（除雪）クラッチレバーを紐やクランプ等で固定することは絶対にお止めください。重大な事故に繋がります。



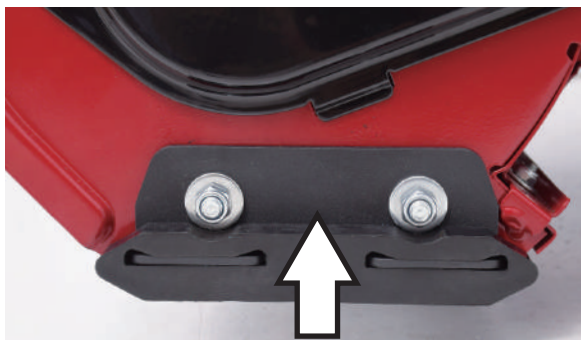
各部の取扱い

ソリ

ソリは、高さを調整することで路面状況にあった除雪ができます。

1 オーガハウジングの下に枕木等を挿込み浮かせます。

2 ソリのボルトを緩め、最適な高さに調整します。





	オーガハウジング下端と路面の隙間
砂利などが多い路面	広くする
普通路	5mm 程度
圧雪路	狭くする

注意

- ・オーガハウジング下端と路面の隙間を狭くしすぎると、オーガの摩耗が早くなったり路面を傷付けたりすることがあります。
また、オーガの回転が路面に伝わり、除雪機が前に進むことがあります。

運転前の点検

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> エンジンが熱いうちは、給油しないでください。 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。 ハイオクガソリンは使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> 燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。 燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。 燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。 燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。 燃料キャップは確実に締めてください。 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のない所に保管してください。 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

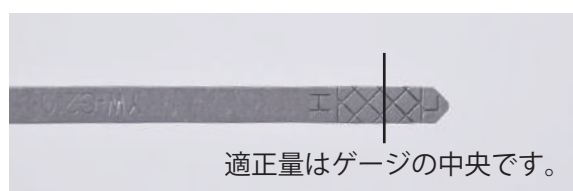
エンジンオイルの点検・補充

エンジンオイル量・汚れを点検します。
 オイル交換については、「点検・整備の仕方 P.23」を参照ください。

- 1 本体を水平な場所に移動させます。
- 2 オイル給油キャップを外し、オイルゲージを布などで拭取ります。
- 3 オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度外します。



- 4 オイルキャップを閉め、オイルがオイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



推奨オイル	SAE 5W-30
オイル容量	0.6L

- 5 オイル量が少ない時は、新しいエンジンオイルを補充します。
- 6 補充後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

燃料の点検・補充

燃料(無鉛レギュラーガソリン)の量を点検します。

- 1 燃料給油キャップを外し、液面を見て残量を確認します。少ないようであればガソリンを少しずつ、フィルタ内の「FUEL LEVEL」を超えないように給油します。



使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク	2.5L

運転前の点検

オーガ(除雪)クラッチレバーの点検

エンジン始動後、オーガ(除雪)クラッチレバーを操作し、「回転」「停止」するか点検します。

レバーを握る

オーガが回転します。

※レバーを握っても回転しない場合は、ワイヤの調整が必要です。(P.27 参照)



レバーを放す

オーガが停止します。

※レバーを放しても停止しない場合は、ワイヤの調整が必要です。(P.26 参照)

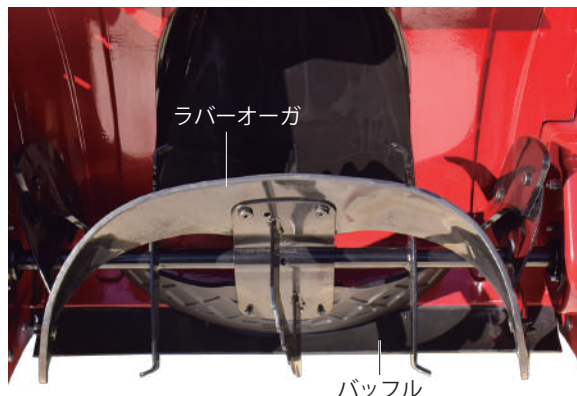


警告

- レバーを紐やクランプ等で固定することは、絶対に行わないでください。重大な事故に繋がります。

ラバーオーガの点検

ラバーオーガやバッフルに凍結や曲がり・変形・欠け・摩耗がないかを点検します。



走行ハンドルの点検

エンジン始動後、走行ハンドルを操作し、前進するか点検します。

ハンドルを押す

走行ハンドルを前に押ししても前進行しない場合は、ワイヤの調整が必要です。(P.33 参照)



ハンドルを放す

走行ハンドルを放しても停止しない場合は、ワイヤの調整が必要です。(P.33 参照)

運転前の点検

シュータの点検

- 1** シュータデフレクタ角度調整レバーを操作し、ツメの破損や不具合がないか点検します。



- 2** シュータ回転バーのノブを回し、シュータがスムーズに動くか、不具合や破損がないか点検します。



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



警告

- ・不具合があったまま使用しないでください。重大な事故に繋がります。

各部の異音の点検

エンジン始動後、エンジン、その他の部位から異音がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



警告

- ・異常を感じたまま使用しないでください。重大な事故に繋がります。

排気状態の点検

エンジン始動後、排気に異常がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



警告

- ・異常を感じたまま使用しないでください。重大な事故に繋がります。

グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分・摺動部を清掃し、グリス潤滑油を塗布します。(P.28参照)

※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。

運転操作の仕方

警告

- 燃料の臭いがある場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

エンジンのかけ方

- 1 緊急安全キー（セーフティーキー）を奥まで挿入します。



注意

- 緊急停止キー（セーフティーキー）は、奥まで確実に挿入してください。確実に挿入されていないとエンジンは始動しません。

ワンポイント

緊急停止キー（セーフティーキー）の穴に紐を取付け、除雪作業の邪魔にならない長さでベルト等に結び付けます。万が一の転倒など際に、緊急停止キー（セーフティーキー）が抜け、エンジンを停止させます。



- 2 外気温が氷点下の場合、燃料ポンプを2～3回軽く抵抗を感じる程度まで押します。

注) 押しすぎるとエンジンが始動しません。



- 3 燃料コックを「ON」にします。

※写真は「ON」の状態



運転操作の仕方

- 4 チョークつまみをチョークマーク \swarrow にします。



- 5 リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真つすぐ引張ります。エンジンがかかるまで、数回繰り返します。



⚠ 注意

- ・リコイルスターターロープを最後まで引出さないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。
- ・運転中はリコイルスターターハンドルに手を触れないでください。また、オーガ（除雪）クラッチレバー握りなが、引っ張らないでください。

- 6 エンジンがかかったら、チョークつまみをチョークマーク \uparrow に戻します。



- 7 リコイルスターターを引いた時に、そのままエンジンがかかった時も、チョークつまみをチョークマーク \uparrow に戻します。

⚠ 注意

- ・エンジン始動後は、チョークつまみを必ずチョークマーク \uparrow に戻してください。

エンジンの止め方

- 1 オーガ（除雪）クラッチレバーから手を放します。



- 2 緊急安全キー（セーフティーキー）を少し引くか、引抜きます。



- 3 燃料コックを「OFF」にします。



運転操作の仕方

警告

- ・シュータを人や自動車、建物に向けないでください。
- ・ラバーオーガに異物が巻付いた時は、エンジンをすぐに停止し、異物を取除いてください。
- ・除雪機に破損がないが確認し、破損が確認された場合は完全に修理してからご使用ください。

適した雪質

本機のラバーオーガはゴム製のため、固まった雪や重たい雪の除雪には不向きです。

また、湿った雪の場合は、シュータに雪が詰まりやすくなります。

新雪	しまった雪	固まった雪	みぞれ
◎	△	-	○

除雪作業の仕方

- 1 シュータ回転バーのノブを回し、投雪方向を調整します。



注意

- ・シュータを 180° 以上を回転させないでください。破損します。

- 2 ノブナットを緩めシュータハンドルを持って動かし、投雪距離を調整します。



- 3 緊急安全キー（セーフティーキー）が奥まで挿入されていることを確認します。



- 3 オーガ（除雪）クラッチレバーをゆっくり握るとオーガラバーが回転します。そのまま走行ハンドルを前に押し出すと前進します。



警告

- ・オーガ（除雪）クラッチレバーを紐やクランプ等で固定することは絶対にお止めください。重大な事故に繋がります。



運転操作の仕方

ワンポイント

①雪が詰まりそうになったら一旦前進をやめ、雪が排出されたらまた前進させます。これを繰り返すことで、雪を詰まらせずに除雪することができます。



②雪幅を狭くすると、除雪しやすくなります。



除雪作業の停止

- 1 P.20の要領で停止をします。
- 2 作業終了後は、本体に付着した雪を取除き拭取ってください。

⚠ 注意

- 雪や水分が付着したままにすると、凍結やサビを起し、故障の原因になります。
- 屋外に保管しないでください。凍結、劣化により故障や本機の寿命を短くする恐れがあります。

シュータに雪が詰まった場合

⚠ 警告

- シュータに詰まった雪を除去する時は、エンジンを停止し、ラバーオーガの回転が止まってから取除いてください。
- エンジンが回っている時は、投雪口に手を絶対に入れないでください。怪我をする恐れがあります。



- 1 エンジンを停止させ、ラバーオーガの回転が完全に停止したことを確認します。
- 2 シュータ内に詰まった雪を棒などで取除きます。
※詰まったまま使用すると、ベルトが伸びたり切れたりする可能性があります。

移動の仕方

- 1 オーガ(除雪)クラッチレバーから手を放します。
- 2 本体前側を少し浮かせぎみにし、走行ハンドルを前に押し込みます。
- 3 又は走行ハンドルを押し込まずに、そのまま手押します。



点検・整備の仕方

いつまでも安全にお使いいただくために定期点検を行ってください。

除雪期前	除雪期	除雪期後
▼シーズン前点検 <ul style="list-style-type: none"> エンジンオイルの交換 P.23 点火プラグの点検 P.25 ベルトの点検 P.29・34 	▼初回 20 時間点検 <ul style="list-style-type: none"> エンジンオイル交換 P.23 ▼運転前点検 <ul style="list-style-type: none"> エンジンオイルの点検・補充 P.16 燃料の点検・補充 P.16 ラバーオーガ、バッフルの点検 P.17 オーガ(除雪)クラッチの点検 P.17 シュータの点検 P.18 各部の緩みやガタツキの点検 P.18 各部の異音の点検 P.18 排気状態の点検 P.18 グリス・潤滑剤の塗布 P.18・28 	▼シーズン後点検 <ul style="list-style-type: none"> 燃料の抜取り P.24 バッフル点検・交換 P.27 ラバーオーガの点検・交換 P.27 各部グリス・潤滑油の塗布 P.28

点検時期の目安

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヵ月後又は20時間運転後	3ヵ月毎又は50時間運転毎	6ヵ月毎又は100時間運転毎	1年毎又は300時間運転毎
燃料	ガソリン量、漏れ	●				
エンジンオイル	オイル量	●				
	交換		●	●		
点火プラグ	清掃				●	
	交換					●

警告

- 安全を確保し作業を行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意

- 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- メンテナンス終了後は汚れが附着しない場所かカバーなどをかぶせて保管してください。



このQRコードを読み取ることで、「点検・整備の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

エンジンオイルの点検・交換

【エンジンオイルの交換】

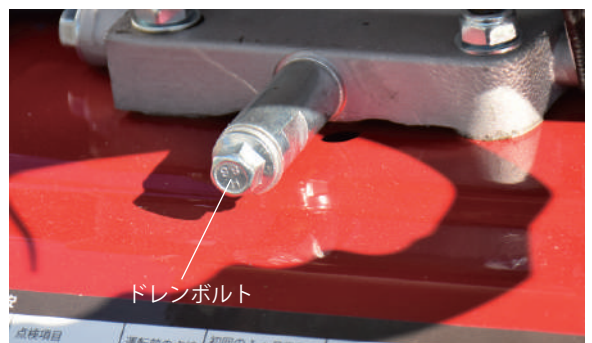
初回 20 時間、以降 50 時間毎にエンジンが冷えた状態で行ってください。

■エンジンオイル交換の手順

- 1 廃油受けを準備し、車体を水平な場所に移動させます。廃油受を本体下に置きます。

- 2 オイル給油キャップを緩めます。

- 3 オイル給油キャップの右下のドレンボルトを、10mm のラチェットレンチで反時計回りに回し緩めるとオイルが出てきます。



点検・整備の仕方

4 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。

5 市販のオイルチェンジャーで抜くことも出来ます。
※操作方法は、オイルチェンジャーの取扱説明書に従ってください。

6 市販のオイルジョッキを用意します。



7 オイル給油キャップを外し、レベルゲージのオイルを拭取ります。新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央までゆっくり少しずつ入れます。



8 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



推奨オイル	SAE 5W-30
オイル容量	0.6L

9 補給後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

燃料の抜き取り

1 燃料コックを「OFF」にします。

2 燃料タンクのキャップとフィルタを外し、燃料を手動のポンプ等で抜きます。



3 燃料を受ける容器を用意します。

4 O部分のボルトを緩めることで、キャブレターの燃料を抜くことが出来ます。
10mmのスパナ又はレンチで緩めます。



5 燃料を抜き終わったら、緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。

6 **3** ~ **5** を行わずに、エンジンをかけ、ガス欠にする方法もあります。その際は、燃料キャップを閉めてください。

点検・整備の仕方

点火プラグの点検・整備

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。
※エンジンが冷えている状態で行ってください。

■使用工具：プラグレンチ（付属）、ワイヤブラシ

■点検・清掃の仕方

- 1 緊急安全キー（セーフティーキー）を抜きます。
- 2 金属の点火プラグキャップを持って引抜きます。
※コードを持って引抜かないでください。



- 3 点火プラグをプラグレンチで取外します。（反時計回り）



- 4 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



隙間は
0.7mm ~ 0.8mm が
適切です。



交換時期	250 時間運転毎
適応 点火プラグ	BPR5ES(NGK)
	BPR6ES(NGK)
	BPR7ES(NGK)

- 5 プラグキャップに点火プラグを取付けます。



- 6 緊急安全キー（セーフティーキー）を挿込み、点火プラグ先端を金属部分に接触させ、リコイルスターターを引っ張ります。この時先端から火花が出れば正常です。



- 7 取外しと逆の手順で取付けます。

点検・整備の仕方

オーガ(除雪)クラッチワイヤの調整

工具：8mm スパナ 2 本が必要になります。

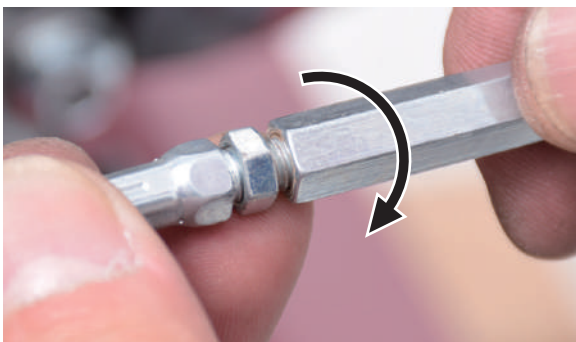
- 1** オーガ(除雪)クラッチワイヤカバーを外します。



- 2** 8mm のスパナで長ナットを固定しながらナットを緩めます。



- 3** 長ナットを矢印の方向に回すことで、ワイヤが張られていきます。



※長ナットを回しすぎると外れます。

調整は少しずつ。

ワイヤの調整幅をいきなり最大にすると、ワイヤの切れの原因になります。調整を行う場合は、「少し調整し張りを確認」、「また調整し張りを確認」というように数度に渡り行うのがコツです。

- 4** ワイヤの張りが完了したら、ナットを締め、スパナで長ナットを固定しながらナットを締付けます。



点検・整備の仕方

ラバーオーガの点検・交換

ラバーオーガ部分に摩耗、破損や変形がないか確認し、破損が激しい場合は、交換をします。

■交換手順

1 オーガスタンドに、2枚のラバーオーガがヘクスローブボルトで取付けられています。

1枚のラバーオーガに6ヵ所あります。

※写真はプロトタイプのため、本製品とは若干形状が異なります。



2 オーガスタンドをクランプ等で挟み込みます。これを行うことで、ラバーの反発によるボルトや取付穴の破損を防ぐことができます。



3 ラバーオーガを取付けているヘクスローブボルトを付属のヘクスローブレンチで反時計回りに回して取外します。



4 取付けは、ラバーオーガをオーガスタンドにはめ、取付穴を合わせクランプ等で固定します。

5 ヘクスローブボルトを6ヵ所通し、ヘクスローブレンチで時計回りに回して均等にしっかり締付けます。クランプ等を外して完了です。

バッフルの点検・交換

バッフルに摩耗、破損や変形がないか確認し、破損が激しい場合は、交換をします。



■バッフルの交換手順

1 バッフルドが取付けているボルトを13mmの六スパンナで固定しながら、10mmのスパンナ又はレンチでナットを緩め、取外します。



2 取付けは取外しと逆の手順で行います。

点検・整備の仕方

グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分・撻動部を清掃し、グリス潤滑油を塗布します。

※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。

1 タイヤシャフト部に塗布します。

2 オーガーシャフト部に塗布します。



3 シュータ稼働部に塗布します。



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。

ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。

不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

各部の異音の点検

始動後、エンジン、その他の部位から異音がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

排気状態の点検

エンジン始動後、排気に異常がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

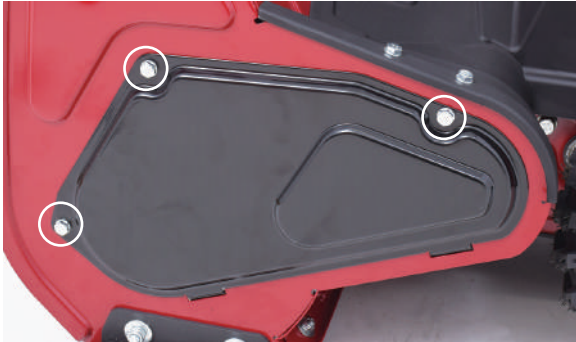


- ・異常を感じたまま使用しないでください。重大な事故に繋がります。

点検・整備の仕方

オーガベルトの交換

- 1** オーガハウジングカバーの 3カ所のボルトを 10mm のスパナ等で取外します。



- 2** テンションプーリーを固定しているナットを 10mm のスパナ等で取外します。



- 3** 大プーリーを固定しているボルトを 13mm のスパナ等で取外します。この時、ラバーオーガを押さえながら行います。



- 4** 小プーリーにかかっているベルトを外します。



- 5** 大プーリー外すとベルトが外れます。



※大プーリーを外す際、キーブロックを紛失しないようご注意ください。

- 6** 取付けは、大プーリーにベルトをセットし大プーリーを取付け、13mm のスパナ等でボルトを取付けます。



点検・整備の仕方

- 7** 小プーリーにベルトをセットします。



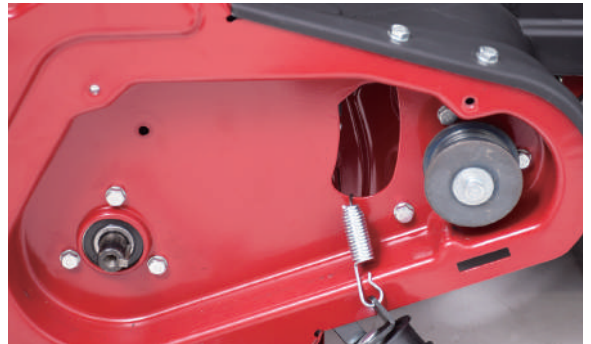
- 8** テンションプーリーを 10mm のスパナ等でナットを締付けます。



- 9** オーガハウジングカバーを取付け、3 カ所をボルトで固定します。

オーガワイヤの交換

- 1** オーガハウジングカバーの 3 カ所のボルトを外し、テンションプーリーを取外します。※写真は見やすいようにベルトも取外しています。



- 2** テンションプーリーをスプリングから取外します。

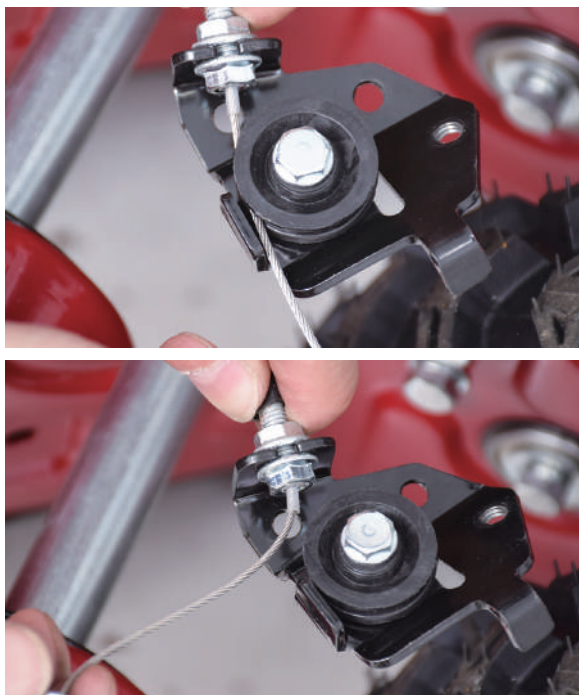


- 3** ボルトを取外しワイヤ固定ステーを取外します。



点検・整備の仕方

- 4** ワイヤ固定ステーのプーリーからワイヤを取外します。



- 5** 10mm のスパナでナットを緩めます。



- 6** ボディ横のワイヤ固定金具のボルトを取外します。



- 7** 固定金具を広げ、ワイヤを取外します。



点検・整備の仕方

タイヤの点検・交換

目視にて破損や亀裂がないか確認します。
破損・亀裂が見つかった場合は、修理または新品と交換してください。

■交換手順

1 固定ピンのロックを解除し引き抜きます。



2 ワッシャを引き抜きます。



3 キーブロックを取外します。向きを覚えておいてください。



4 スナップリングを専用の工具で引き抜きます。

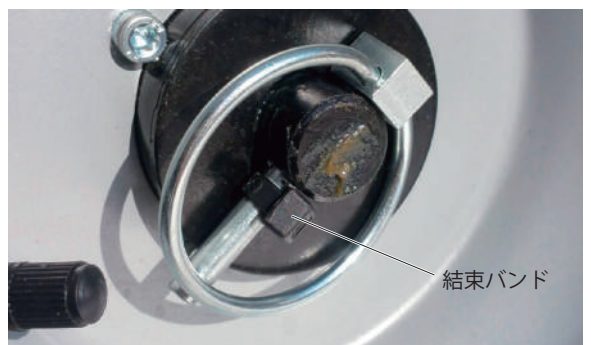


5 タイヤを引き抜きます。



5 取付けは、取外しと逆の手順で行います。

6 最後に固定ピンを、市販の結束バンドで固定することを忘れないでください。



点検・整備の仕方

走行ワイヤの調整・交換方法

走行ハンドルを押しても前進しなかったり、押さなくても前進してしまう場合は、走行ワイヤの調整が必要です。

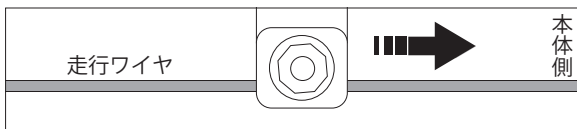
■調整方法

- 1 上ハンドル左側のワイヤ固定部品のボルト、ナットを10mmのスパナで緩めます。

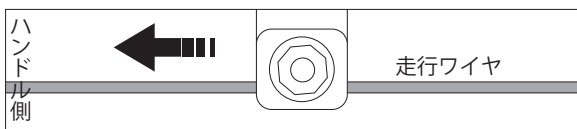


- 2 ワイヤを調整します。

■前進しない場合は、ワイヤを本体側に引っ張ります。



■ハンドルを押さずに前進する場合は、ワイヤをハンドル側に引っ張ります。



- 3 位置が確定したらワイヤ固定部品のボルト、ナットを10mmのスパナで締付けます。

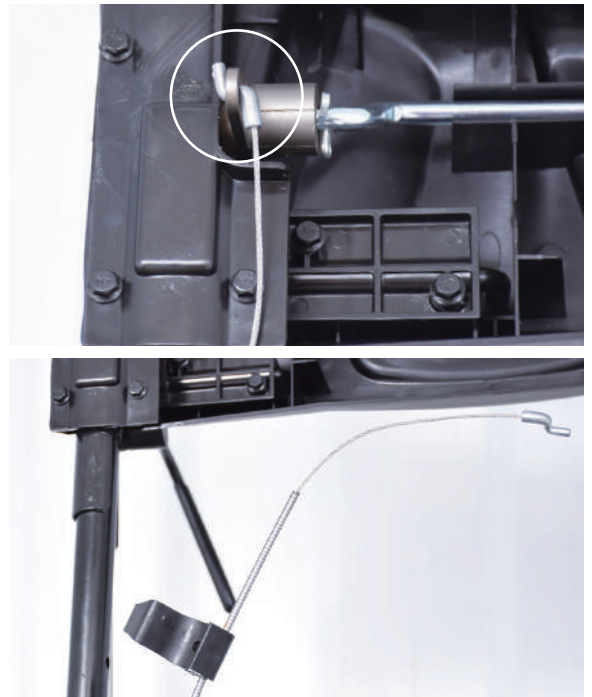
- 4 ワイヤの張りが適正か実際に作動させて確認します。

⚠ 注意

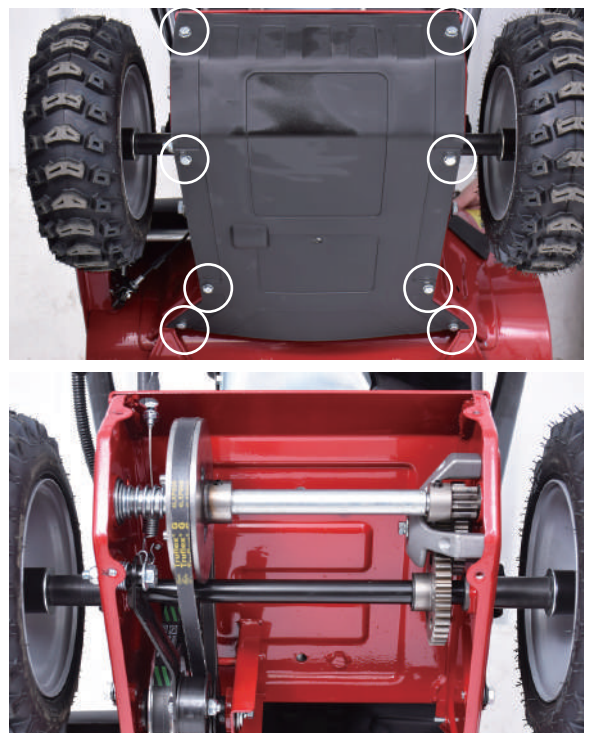
- ・ 本体を倒す際に、シュータなどを破損させないようにご注意ください。
- ・ 作業中に本体が倒れないよう工夫をお願いします。

■交換方法

- 1 ワイヤの調整方法と同様に上ハンドル左側のワイヤ固定部品のボルト、ナットを10mmのスパナで緩めを外します。
- 2 上ハンドルカバー裏側の金具に取付いているワイヤ先端のフックを外します。



- 3 本体を慎重に倒し、底カバーの8カ所のボルトを10mmのスパナで外します。



点検・整備の仕方

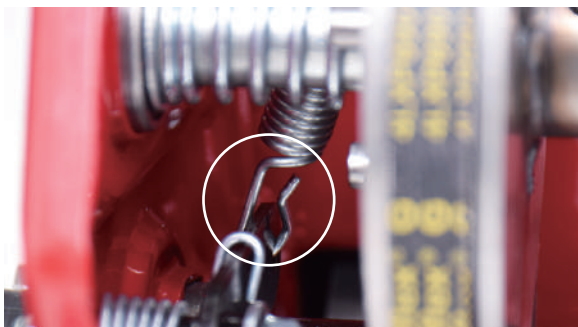
⚠ 注意

・写真は見やすいように素手で作業を行っていますが、狭い部分に手を入れて作業するため、必ず手袋を着用して行ってください。

- 4** 本体に固定している走行ワイヤのダブルナットを10mmのスパナで緩めます。

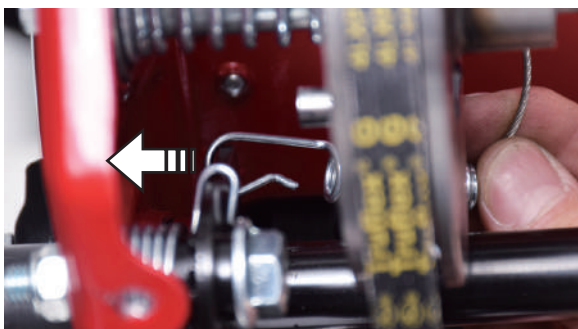


- 5** 走行ワイヤ先端のスプリングフックを外します。

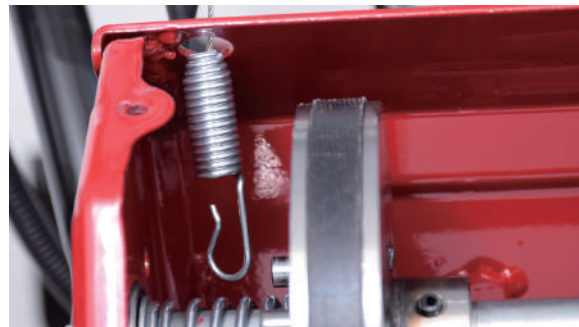


- 6** 外すコツとしては、まずスプリングフックを横にします。

- 7** 次にスプリングフックを左に押し込むことでフックが外れます。



- 8** そのままワイヤを引き抜くことで取出すことができます。



- 9** 新しいワイヤの取付方法は、取外しと逆の手順で行います。

- 10** 最後に、ワイヤの張りの調整を行います。

走行ベルト・駆動ベルトの交換

シーズン前に目視にて破損や亀裂がないか確認します。破損・亀裂が見つかった場合は、新品と交換してください。

交換方法は動画をご覧ください。

長期間使用しない時

除雪機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

- 1** 保管する時は、平坦で堅い地面に水平に置てください。
- 2** 燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。
(P.24参照)
- 3** 又は、エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
- 4** 緊急停止キー（セーフティーキー）を抜いてください。
- 5** 各部のよごれを落とし、水分が残らないよう、きれいに清掃します。
- 6** 各部のボルト類の破損、腐食、緩みを点検します。
- 7** 防錆、潤滑油を塗布します。
- 8** 本体にカバーをかけ、湿気の少ない換気の良い場所に保管してください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	始動スイッチボタンの不良	交換
	点火プラグ不良	交換 (P.25 参照)
	点火プラグ・キャップ接続不良	確実に接続
	イグニッションコイルの不良	交換
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる (P.16 参照)
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンクの錆び又は、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
	オイルの入れすぎ	オイル交換 (P.23 参照)
	オイルにガソリンが混ざっている	オイル交換 (P.23 参照)
	緊急安全キー(セーフティーキー)が奥まで入っていない	奥まで挿込む

●エンジンはかかるが、すぐ停止したり、停止しそうになる

症状	原因	対処
白煙が出る	エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く (P.23 参照)










●うまく除雪作業ができない

症状	原因	対処
シュータから雪が出ない	シュータに雪が詰まっている	詰まった雪を取除く
雪を集められない	オーガに雪が付着している	付着した雪を取除く
オーガが回転しない	オーガベルトが切れている	ベルトの交換 (P.29 参照)
雪の飛びが悪い	エンジンの負荷が高い	手押し速度を下げる

●走行しない又は勝手に走行する

症状	原因	対処
上ハンドルを押しても走行しない	走行ワイヤに張りが緩い	走行ワイヤも張りを調整 (P.33 参照)
上ハンドルを押さなくても走行する	走行ワイヤの張りがきつい	走行ワイヤも張りを調整 (P.33 参照)
上ハンドルを押しても走行しない	走行ベルトが切れている	走行ベルトの交換 (P.34 参照)

消耗品一覧

商品名	商品コード	
オーガワイヤ	hg-k7060-p061	
走行ワイヤ	hg-k7060-p062	
左ホイール (チューブレスタイヤ)	hg-k7060-p105	
右ホイール (チューブレスタイヤ)	hg-k7060-p092	
ホイール部品アッセンブリ	hg-k7060-p089-091-169	
オーガベルト 5PK-685	hg-k7060-p115	
駆動ベルト 4PK-810	hg-k7060-p041	
走行ベルト 4LXP-690	hg-k7060-p068	
ラバーオーガ	hg-k7060-p137	
バッフル	hg-k7060-p132	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日 令和 年 月 日

<input type="checkbox"/> 見積り	<input type="checkbox"/> 注文	ご連絡方法	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL
------------------------------	-----------------------------	-------	------------------------------	------------------------------

本製品ご購入お客様情報

フリガナ		ご購入時登録の電話番号	
氏名 会社名	様	普段繋がりやすい電話番号	
ご住所 お届け先	〒 -	FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）

フリガナ		電話番号	
氏名 会社名	様		
お届け先	〒 -	FAX 番号	

代金お支払い方法 (お振込み期限 7 日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 ご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込	みずほ銀行 館林支店 普通口座 1851252	お振込先口座名義人は、 ハイガー・ハイグサンギョウ (カ となります。
	<input type="checkbox"/> 郵便振替	ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181	
	<input type="checkbox"/> 代金引換	代引手数料 (1 万円未満：330 円、3 万円未満：440 円、10 万円未満：660 円)	

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金＋代引手数料をお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品到着日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6)弊社が認めていない改造をされたもの
- (7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8)注意を怠った結果に起きたもの
- (9)薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11)機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13)使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑥送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
 - ③故障内容の確認
 - ④故障装置の修理
- *1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先：下記カスタマー・サポート・センター

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日
無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



ハイガー産業 株式会社
〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1
ハイガーオフィシャル 検索
<https://haige.jp/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

重要なお問い合わせ

0276-55-2275

○受付：月～金曜日 10:00～15:00 ○受付中止：月～金曜日 12:00～12:50
◎定休日：土曜日、日曜日、お盆、年末年始、GW

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が、続いております。ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。